

令和3年度（2021年度）交付 市民企画事業補助金 成果報告書



八王子市

令和4年（2022年） 8月

あなたのまちを、
あるけるまち。
八王子

目 次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	交付事業一覧	3
4	事業成果報告（成果報告書・収支決算書）	
(1)	つつじヶ丘緑地 楽しめる場所づくり	5
(2)	八王子愛 TV～youtube による市民活動の促進事業	9
(3)	若宮正子著「老いてこそデジタルを。」から学び、100 歳時代の生涯を楽しむ 生き方を広める	13
(4)	子ども文庫の「福袋」貸し出し事業	17
(5)	動物の適正飼育の啓蒙活動	21
(6)	エンディングノート作成支援事業	25
(7)	子育て支援はママ支援！子育てを地域で支えるための 親子の居場所事業	29
(8)	子どもの居場作りと、親子交流のダンス教室	33
(9)	高尾・浅川の野鳥図鑑の出版と企画展の開催	37
(10)	地産地消地活の日本酒「高尾の天狗」酒米づくりプロジェクト	41
(11)	とんとんむかし～CD および DVD 制作～	45
(12)	地域の自然資源を活用した「里山子ども食堂農園」及び「農業体験教室」 の開設・運営事業	49
(13)	広がれ！八王子冒険遊び場～遊びで育つ子どもの生きる力～	53
5	交付団体連絡先一覧	57

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価について、
原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の3部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、C事業連携部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門	C 事業連携部門
内 容	この部門では、既に公益的な活動に取り組んでいるが活動基盤が整っていない団体やこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介する事業に要する経費を補助します。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとします。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。	この部門では、既に主たる事業で自立運営をし、他団体と交流を有さない市民活動団体が他団体と協力・連携することで、さらなる事業の発展を見込むことができる事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。
補助金額	必要な経費の10/10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	① 必要な経費の1/2以内 (千円未満切り捨て、上限50万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/3以内(上限50万円)又は前回交付決定額の80%(上限50万円)のいずれか低い額。ただし、事業の性質上、市長が特に認めた場合は、①とします。	① 必要な経費の2/3以内 (千円未満切り捨て、上限50万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/2以内または前回交付決定額の80%のいずれかの低い額。ただし、事業の性質上、市長が特に認めた場合は①とします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで	

(3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、事務局(協働推進課)による応募書類の確認、市の担当課による応募事業の内容確認・評価を行う予備評価及び外部委員で構成される「市民企画事業補助金申請事業評価会議」による評価を基に行います。

また、応募団体自ら事業の説明を行う「公開プレゼンテーション(『B 事業実施部門』及び『C 事業連携部門』)」や、公開プレゼンテーションでの市民からの意見、継続事業については前年度事業の進捗状況などを参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門	C 事業連携部門
担当課による 確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ	1. 政策合致性 2. 計画性 3. アイディア性
評価会議 による評価	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 公益性 2. 計画性 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性	1. 公益性 2. 計画性 3. 補完性 4. 発展性 5. 補助金交付の必要性

※ この概要は令和3年度(2021年度)交付対象事業についてのものです。最新情報については、市のホームページをご覧ください。

＜市民企画事業補助金のホームページアドレス＞

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>

2 事業成果報告等の経過

＜1＞ 公開プレゼンテーション

- 日 時 令和3年（2021年）4月10日（土） 12:30～16:35
- 場 所 生涯学習センター（クリエイトホール）11階 視聴覚室
- 実施方法 「Zoom」によるオンライン併用開催
- 参加団体 13団体
- 審査の一環として、B.事業実施部門及びC.事業連携部門に応募した全ての団体が、評価会議委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



＜2＞ 成果報告会

- 日 時 令和4年（2022年）6月25日（土） 12:30～16:00
- 場 所 生涯学習センター（クリエイトホール）11階 視聴覚室
- 実施方法 「Zoom」によるオンライン併用開催
- 参加団体 13団体
- 令和3年度（2021年度）に補助金を受け実施した事業について、評価会議委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



3 交付事業一覧

(単位 円)

区分	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額	補助金確定額
A 活動 支援 部門	新	つつじヶ丘緑地 楽しめる場所づくり	105,809	100,000	100,000
	新	八王子愛TV～youtubeによる市民活動の促進事業	110,429	100,000	100,000
	新	若宮正子著「老いてこそデジタルを。」から学び、100歳時代の生涯を楽しむ生き方を広める	249,140	100,000	100,000
	新	子ども文庫の「福袋」貸し出し事業	74,043	70,000	70,000
	②	動物の適正飼育の啓蒙活動	100,783	100,000	100,000
	②	エンディングノート作成支援事業	120,733	100,000	100,000
	小計		760,937	570,000	570,000
B 事業 実 施 部 門	新	子育て支援はママ支援！子育てを地域で支えるための親子の居場所事業	990,370	500,000	495,000
	新	子どもの居場作りと、親子交流のダンス教室	1,412,801	333,000	333,000
	②	高尾・浅川の野鳥図鑑の出版と企画展の開催	2,320,770	500,000	500,000
	②	地産地消地活の日本酒「高尾の天狗」酒米づくりプロジェクト	522,271	489,000	174,000
	②	とんとんむかし～CDおよびDVD制作～	829,979	400,000	400,000
	小計		6,076,191	2,222,000	1,902,000
C 事業 連 携 部 門	新	地域の自然資源を活用した「里山子ども食堂農園」及び「農業体験教室」の開設・運営事業	752,499	500,000	500,000
	新	広がれ！八王子冒険遊び場～遊びで育つ子どもの生きる力～	790,163	498,000	498,000
	小計		1,542,662	998,000	998,000
総計			8,379,790	3,790,000	3,470,000

A-新-3「殺処分ゼロへ。「小さな命の写真展」開催と「命の授業」の開催準備」及びB-新-5「気分は城々！都市農村交流型の野外キャンパイベント」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により事業を中止しました。

4 事業成果報告

（成果報告書・収支決算書）

令和3年度(2021年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	つつじヶ丘緑地楽しめる場所づくり		
団体名	つつじヶ丘自治会グリーンチーム		
事業費	105,809 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的 多くの利用者の目を楽しませる美観づくり
	内容 花壇造成作業・季節の花苗植え付け作業・管理作業 緑地内樹木剪定・用地内草刈り・保全作業等

事業の活動実績	作業記録を別紙添付します。(つつじヶ丘自治会グリーンチーム作業記録) 作業実施日数(100/365)・・・100日実施 一日当りは平均4～5人の出働 作業は毎(月)(水)(金)午前9時～午後5時 会員個人の用事は、優先条件に1ヶ年頑張ってみました。
新型コロナウイルス対策実績	① 作業前に体調・体温の点検・記録 ② 作業中も必ずマスクの装備・実行 ③ 作業中の行動(密度・会話・接触等)に注視 作業中の行動・個人の密着作業を避ける為 作業内容を分離(草刈り、土砂堀起こし、^{ふるい}篩作業、石、根の整理等分業作業を実施)

事業の様子または成果がわかる写真①
＜パンジー＞



事業の様子または成果がわかる写真②
＜サツキ＞



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	雑草が繁っていた緑地帯の雑草を根こそぎ掘りあげて土を篩^{ふるい}にかけ、土壌をしっかりと整えました。 さらに（株）真尾商店からいただいたテストピース 1700 本を土壌と飾りに使わせていただきました。 そこに今年は、パンジーとチューリップを植えました。 その後に、東京都からいただいた苗木（サツキ 50 本・オオムラサキツツジ 50 本・クルメツツジ 50 本・ヒラドツツジ 50 本・ドウダンツツジ 100 本・ブルーベリー 20 本・）計 320 本を 3 ヶ所に分けて植えました。 初年度は、予定地の整地作業、盛り土は残土・捨土のため篩^{ふるい}を要する作業が多く腐葉土の投入に依り苗木地に変える作業に一か年を費やした。 咲いた花、整った植木の写真等を用いて 2 年度は広報活動を実施します。
----------	---

自己評価

事業は申請どおり実施できた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）					
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）					
	効果を表す指標	花壇造成・整備面積 (321.0 m ²) 他	本年度目標値	64.0 m ² (20%)	本年度実績値	145.62m ² (45%)
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している					
	主な理由（2、3と答えた場合のみ）					
その他、評価すべき点等	花壇造成作業工事が終了し、固定化に依り、維持管理が楽になり、軽作業化に依り、場所管理を保って行ける。					

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	今年度は、予定された北側斜面の緑地の土壌改良を行い、花と樹木を植えて季節に応じた花壇にしていきたい。 又、「つつじヶ丘緑地」の宣伝をアピールするため近隣の自治会へ適宜ポスターの掲示をお願いします。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		つつじヶ丘緑地 楽しめる場所づくり	
団 体 名		つつじヶ丘自治会グリーンチーム	
項 目	内 容 ・ 内 訳		決 算 額 (円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2	その他助成金収入	自治会より補助	5,809
3	事業による収入 ()		
4	団体運営費からの繰入金		
5			
6			
合 計			105,809
支出の部			
1	消耗品費	腐葉土・花代(チューリップ・パンジー) 土地整地作業 作業・完成地等の記録写真用	¥105,809
2	印刷製本費		
3	謝礼・報酬		
4	会場借上料・使用料		
5	交通費	別添明細書のとおり (※明細を添付してください)	
6	通信費		
7			
8			
9			
10			
合 計			¥105,809

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和3年度(2021年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子愛TV～youtubeによる市民活動の促進事業		
団体名	八王子愛TV実行委員会		
事業費	110,429円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 市民が思う望むまちの姿について意見交換や情報発信する場をオンラインで創出することにより、世代や地域を超えた新しい市民交流の機会、新しいコミュニティを作り出す機会とし、将来、市民が、自らが住むまちにより愛着をもって、市民活動の促進、社会参加を果たすことを目的といたしました。
	内容 団体のネットワークを活かし、八王子市民もしくはゆかりのある有識者、著名人、企業、飲食店関係者などが集まり、市に関するあらゆるテーマについて意見交換や、提案、課題解決、市民交流などを行うYouTube番組を制作し、発信する事業です。

事業の活動実績	5本の動画を配信。2本の動画を収録済、現在未配信。 第1回：【出演者】北島伸高さん(株式会社ケイアイ代表取締役)、西山賢さん(八王子市議会議員) ←収録時、西室真希さん(八王子市議会議員)、奥田博伸さん(株式会社奥田染工場代表)、門脇大輔さん(CREAP Co 代表)、杉本浩司さん(株式会社エスエストラスト代表) 【内容】八王子の豪華論客とともに、各自の八王子愛、八王子の未来、を討論会形式で実施。 第2回：【出演者】門脇大輔さん(CREAP Co 代表) 【内容】恩方マルシェの主催や恩方VIEWを運営する門脇さんの活動と、今後の展望について対談。 第3回：【出演者】西山賢さん(八王子市議会議員) 【内容】元市議会議員、現都議会議員の西山氏と、少年時代の思い出や今後の展望について対談。 第4回：【出演者】ファンキー加藤さん(FUNKY MONKEY BABY 'S) 【内容】元八王子観光大使である加藤氏と地元愛について対談。 第5回：【出演者】殿岡陽丈さん(殿岡プロダクツ 代表取締役) 【内容】スタジオ・飲食・デザイン等、多くの分野を手掛ける殿岡氏の経営手腕について対談。
新感染症対策ウイルス	撮影時には事前に出演者・撮影スタッフの健康状況の確認を行うとともに、検温・手指消毒を徹底いたしました。

事業の様子またはがわかる写真①
第4回分



事業の様子または成果がわかる写真②
第3回分



事業の成果・効果	八王子ゆかりの有名芸能人による「八王子会」という集まりも活動されていますが、著名人による情報発信と、「八王子市」に関する話題がTV等に取り上げられることで、八王子市民として地元への興味が高まり、誇りを感じる機会を得られていると感じます。 その効果と同じに、いわゆる YouTube 動画としての再生回数は少ないものの、八王子にゆかりがあり全国的な活動をされている方、八王子で精力的に活動している町の方々を紹介していくというジャンルとしては、ある程度の人に観てもらえていると思っております。 これまで、八王子の魅力溢れる人との動画配信で触れ合い、八王子のビジョンをともに語ることで得た一体感や協力体制により、令和4年度当初にはJCOM ホールでの音楽フェス、南口広場でのカルチャーイベントに連携することができ、八王子の新たな文化からの活性化の取り組みを行うことができるようになりました。
----------	---

自己評価

事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた ③ あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
	主な理由（3、4と答えた場合のみ） 月1回、年間12回以上の配信を検討しておりましたが、コロナウイルス感染拡大の影響から、予定していた撮影行程の変更により、出演者とのスケジュールや撮影場所なども、急遽、延期や中止となる場合があります、配信本数は5本にとどまる結果となりました。					
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	1 できた 2 概ねできた ③ あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
	主な理由（3、4と答えた場合のみ） 配信動画の本数を多くアップすることが出来ず、番組視聴回数を思ったようには増やすことが出来ませんでした。PRの方法や市民間の交流の場を深める番組制作等を今後も検討してまいります。					
	効果を表す指標	Youtube チャンネル登録者数	本年度目標値	1000 人	本年度実績値	2600 人
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった ③ 大幅に変更している					
	主な理由（2、3と答えた場合のみ） 令和3年2月頃から活動を開始し、実行委員会の自主経費で3月末までに要した経費があったため、令和3年度分（4月～）の実績は当初の計画書と相違する報告となりました。					
その他、評価すべき点等						

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	この活動で得た様々な人とのご縁を活かし、さらにより多くの八王子市民の皆様に番組を視聴していただき、市民の皆様がより住むまちのことに興味を持ち、地域活動への参加を促すようなチャンネルにしていきたいと考えております。 今後とも、八王子愛の醸成こそが、市民活動の促進、まちの活性化、若者の定住、世代間交流などを支えるものだとし、当実行委員会が得意とする音楽、デザイン、ファッションなどの分野を活用した事業を継続してまいります。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		八王子愛TV～youtubeによる市民活動の促進事業	
団 体 名		八王子愛TV実行委員会	
項 目			決 算 額 (円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 ()		
4	団体運営費からの繰入金		10,429
5			
6			
合 計			110,429
支出の部			
1	消耗品費		
2	印刷製本費		
3	謝礼・報酬		
4	会場借上料・使用料	5月11・18・25日 クリープストアスタジオ使用料	¥42,000
5	交通費	別添明細書のとおり (※明細を添付してください)	
6	通信費		
7	備品購入費	マイクロホン 38,569円他	¥68,429
8			
9			
10			
合 計			¥110,429

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和 3 年度 (2021 年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	若宮正子著「老いてこそデジタルを。」から学び、100 歳時代の生涯を楽しむ生き方を広める		
団体名	一般社団法人壹拾百千万の会		
事業費	249,140 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的 主催団体の設立趣旨は「高齢者が人生最期まで心身の健康を豊かにすることに関心を持ち、その実現に向かって互助互譲の精神での活動を地域に普及させることを目的にする。」であり、その趣意に副った若宮正子著「老いてこそデジタルを。」の講演会から学び、100 歳時代の生涯を楽しむ生き方を広める。
	内容 「老いてこそデジタルを。」の著者若宮正子氏によるオンライン講演会の開催 参加者：オンライン：14 名、クエリイトホール：46 名、是枝サロン：11 名 「老いてこそデジタルを。」講演及び質疑応答（講演会時に加えてアンケートで頂いた質問を後日ご回答いただいたものも）を動画に編集し、希望者に有償配布した。

事業の活動実績	講演会に関して ・事業計画では参加人数を 120 名の努力目標を立てたが、実績は 71 名であった。事業認可を頂いてからの活動期間が 2 か月半と短期間であったが、‘それなりの’実績を達成できた。 ・コロナ禍のもとで、オンラインと 2 会場でのハイブリッド方式でのチャレンジであった。初めての運営であり、困難、不慮の事態発生等も懸念されたが、システム全体を総括して下さるスタッフのご協力もあり無事に遂行できた。 ・公演時間が 100 分と長く、前後半の中間のトイレタイムにハープ演奏の‘ハプニング・イベント’を行ったが、これも、成功裏に実施できた。 講演会及び質疑応答の動画編集は当初は予定していなかったが次の事由により急遽実施。 ・オンライン参加者の中に当日都合が悪く、参加を取り消したいという方が 6 名発生。動画編集により後日見ていただくことで参加となった。 ・講演内容及び質問が多岐にわたるため、内容をより正確に理解していただくために。5 本立ての動画とした（講演会前半 講演会後半 & 質疑応答 取組課題）
新型コロナウイルス対策実績	講師若宮正子氏のご意向は八王子会場での講演を希望されたが、コロナ禍での世情もありオンラインでの実施要請となった。このことにより、デジタル機器管理運営技術者の協力を仰ぐことにもなった。 2 会場での実施は規定事項に則り実施。

オンラインでの講師と
クエリイトホールスクリーンでの受講風景



クエリイトホールでの
受講者からの質問と応答風景



事業の成果・効果	講演会に関して ✓ 事業計画では参加人数を 120 名の努力目標を立てたが、実績は 71 名であった。事業認可を頂いてからの活動期間が 2 ヶ月半であり、高齢者あんしん相談センターの支援を頂いたが、広報不足は反省点である。 ✓ 受講者への感想アンケート実施。オンライン参加者からの回収が困難なため、クリエイトホールと是枝サロン参加者であったが(両会場の参加者は 57 名) 38 名から回答を頂いた。アンケート回答は次の通り(一部を紹介) - 講演会の評価:(良かった:35、普通:3、良くなかった:0) - 「最も印象に残ったことはなんですか?」では ・「高齢者もやればできる」との応援メッセージですが、日々進む老化に対峙するにはエネルギーが必要。今やらなければと勇気を頂きました。 ・デジタルがシニアの生活の助けになることがよくわかりました。 - 「これからどんなことに取り組みますか?」では ・遠方の方と Zoom を利用して交流したいです。 ・脳や身体の活性化は必須。意欲に満ちた人生に取り組みます。 動画編集と今後の活用 当初計画にはなかったことであったが、豊富な講演内容&質疑応答を動画編集できたことにより、講演内容が正確に伝えることができる。今後の勉強会での普及に活用したい。
----------	--

自己評価

事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた ③あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4 と答えた場合のみ) 参加人数は目標 120 人、実績 71 人。広報不足は今後の課題。					
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4 と答えた場合のみ)					
	効果を表す指標	講演会参加者 登録会員数	本年度 目標値	120 人 60 人	本年度 実績値	71 人 10 人
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった ③大幅に変更している 主な理由 (2、3 と答えた場合のみ) 動画編集にあたり既存パソコンの容量不足で編集不可のため、パソコン新規購入。 動画販売により、予定外の収入を獲得。 是枝サロン使用不可となり、新規会員募集を断念					
その他、評価すべき点等	編集動画の試写会実施時、参加者自宅でのインターネット環境の概況を把握できた。また、パソコン & スマホ活用活性化に向けて「スマホ活用講座」を開発。Zoom オンラインでの講座開催可能となった。 次年度実施予定。					

自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	「老いてこそデジタルを」講演会の編集動画をもとに講座を記載し、デジタルの活用の事例交流による高齢者の生活の質の向上実現に貢献 パソコン&スマホ活用活性化に向けて「スマホ活用講座」を Zoom オンラインにて開催
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		若宮正子著「老いてこそデジタルを。」から学び、100歳時代の生涯を楽しむ生き方を広める	
団 体 名		(一般社団法人) 壱拾百千万の会	
項 目		内 容 ・ 内 訳	予 算 額 (円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金		100,000
2	事業による収入	若宮正子氏講演会	35,500
		講演会動画販売	21,760
		寄付金	91,880
合 計			249,140
支出の部			
1	印刷製本費	若宮正子氏講演会案内チラシ	1,660
2	謝礼・報酬料	若宮正子氏講演会講師謝金(¥50, 000)	50,000
	謝礼・報酬料	講演会3会場ネットワーク管理等技術指導謝金(田中英俊氏)	20,000
	謝礼・報酬料	講演会当日講座進行コーディネーター謝金(是枝洋氏)	2,000
	謝礼・報酬料	講演会当日器楽演奏謝金(田中秀幸氏)	1,000
	謝礼・報酬料	講演会・質疑応答動画編集謝金(60, 000)(深津孝雄氏)	60,000
	3	テキスト購入料	若宮様著書「老いてこそデジタルを。」5冊書籍代
	会場借り上げ使用料	講演会場所:クエイトホール・・・4, 600×1回	4,600
	会場借り上げ使用料	講演会場所:是枝サロン・・・500円×3回	1,500
	消耗品費	印刷用紙	1,096
	消耗品費	プリンターインク	8,938
	備品購入費	パソコン(動画編集用に使用¥87, 336)	87,336
	備品購入費	GA00439-JP(Chromecast)(¥4, 520)	4,520
4	交通費		
5	通信費	若宮正子氏講演会講師謝金振込手数料	440
合 計			249,140

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和 3 年度 (2021 年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子ども文庫の「福袋」貸し出し事業		
団体名	西武北野台子ども文庫		
事業費	74,043 円	補助金額	70,000 円

事業の目的・内容	目的 子ども文庫の活動は、本の貸し出しと読み聞かせ・工作などのお楽しみイベントであるが、コロナ禍にあり子どもたちを集めることが困難な状況下でできることとして「福袋」(あらかじめ選んだ本をセットしておく)での貸し出しを続けることを目的とした。
	内容 活動場所の自治会館閉館中でも貸し出しができるよう(館内に入らずに)「西武北野台子ども文庫」のオリジナルバッグを作成し、その中にスタッフが選んだ本をセットして手渡した。令和 3 年度、テラスからの貸し出しを 8 回、12 月は通常開館、1・2 月休館、3 月は臨時開館となった。

事業の活動実績	貸し出し実施回数：(テラス 8 回・館内 2 回) 1・2 月お休み セット準備など：文庫開催予定日の前(10 回) 貸し出し実績：セット のべ 47 袋 / 冊数 のべ 690 冊 利用人数：平均 13 人/月 (参考：2020 年度実績；新型コロナ対応で、閉館やテラス利用もあったため通常より減。 年間開庫日数 6 日 / 利用人数 平均 10 人 / 貸出冊数 のべ 480 冊)
新型コロナウイルス感染症対策実績	自治会館内には子どもたちを入れないが、スタッフの作業で会館を利用する際に「マスク着用・検温・消毒・使用後の室内消毒」を行った。通常開館時は同様に来館者の「マスク着用・検温・消毒・換気・密回避」の対応を実施。室内に利用者が滞留しないよう気を付けた。HP でも、来館時にマスクと消毒を呼び掛けた。

右:テラス文庫



スタッフで作製。



左:3 月 22 日
ようやく開庫。
あいにく外は雪。



左:
アイロンプリントの文字と
消しゴムスタンプで完成

事業の成果・効果	・バッグでの貸し出し方法は試行錯誤の連続だったが、工夫を重ねおおむね軌道に乗った。 (事前にテーマを決めた本を集める バッグに 3~5 冊入れる(バッグ内の書名をメモし番号を振り、バッグに番号札を付ける) 利用者はバッグを選ぶだけで貸し出しカードを書かずに持ち帰ることができる。借りられた本のタイトルはこちらで番号のメモを確認して記録する) ・利用者が直接本を選べないという状況の中で、こちらがセットしておいた本をそのまま貸し出すという方法が目新しかったからか、子どもたちが嬉しそうにバッグを抱えて帰る姿が見られ、「中身はお楽しみ」という方法は成功したようだ。 ・日頃はそれぞれの子どもが好きな本を選ぶが、セットすることでいつもは選ばない本にも触れる機会となり、保護者からも好評だった。 ・保護者の利用もあった(保護者向けのセットも作った)。 ・PR が十分行えなかったため、当初目標とした利用者増が見込めなかったが、この方法を始めてから新しく利用者として登録をしてくださった方もあり、バッグ貸し出しの効果は大きかったと思う。
----------	---

自己評価

事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ） （事業名称につかった「福袋」という文言を使えなかったが、内容は計画通りでした）					
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	1 できた 2 概ねできた 3 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ） コロナ禍で自治会館の利用可否が決まらない状況のなかで、バッグ貸し出しで感染症対策をしているという安心感から想定以上の利用を得たと考えるが、情報発信しづらい状況だったため新しい利用者の増加に課題が残った。					
	効果を表す指標	利用者数/月		本年度目標値	20 人	本年度実績値
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ）					
その他、評価すべき点等	新しい取り組みではあったが、手作りのバッグで親しみを持ってもらい、子どもたちが本を借りる楽しさを感じてくれたと思う。コロナ禍で自治会活動も多くが取りやめとなった中、文庫活動に理解を示しテラスやロビーの使用を許可してもらうなど、地域の活動としても評価を得ることができたと思う。					

自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	今後もバッグ貸し出しを継続する。中身の工夫や宣伝で、より多くの本と出合う機会としたい。新しい本を増やすことには限界があるが、少し古い本でも同じテーマの本とセットにしたり、大人の方にも薦めたい本のセットを増やし地域の利用を増やせればと考えている。新型コロナウイルス感染症による社会活動の制限がなくなれば、近隣の小学校はじめより広い範囲への広報活動を展開したい。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		子ども文庫の「福袋」貸し出し事業	
団体名		西武北野台子ども文庫	
項	目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		70,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 ()		
4	団体運営費からの繰入金		4,043
5			
6			
合 計			74,043
支出の部			
1	消耗品費	布バッグ、プリント用紙、インク、スタンプ、番号札、セット 保管用コンテナ、展示用ブックエンドなど	58,121
2	印刷製本費	貸出用カード	9,900
3	謝礼・報酬		
4	会場借上料・使用料		
5	交通費	別添明細書のとおり (※明細を添付してください)	6,022
6	通信費		
7			
8			
9			
10			
合 計			¥74,043

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和3年度(2021年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	動物の適正飼育の啓蒙活動		
団体名	八王子わん♡にゃんクラブ		
事業費	100、783円	補助金額	100、000円

事業の目的・内容	目的 八王子市保健所には市民より動物に関する苦情や相談が多数寄せられる。保健所が対応できないTNR(ノラ猫の捕獲、不妊手術)や保護を行うことにより、地域環境を改善し、地域の方々が快適に暮らせるようになる。
	内容 これまでのホームページやチラシでの啓もう活動に加え、新たに八王子市保健所駐車場で譲渡会を行うので、そこでの啓蒙活動と個別の相談にも対応する。

事業の活動実績	計画では毎月1回譲渡会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、その期間中は譲渡会は中止にしました。結果的に11月21日、12月12日、1月9日の3回の開催となりましたが、毎回、たくさんの方が来場され、猫の譲渡や犬や猫に関する相談にもお答えすることが出来ました。
新型コロナウイルス対策実績	譲渡会の開催時には来場者全員にマスクの着用と検温と手指消毒を行ってもらいました。人の流れを順路を決めて一方向に進んでもらい、ソーシャルディスタンスを保って、猫を見てももらいました。緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置中は譲渡会を中止しました。



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	毎回、たくさんの方が来場されました。京王八王子駅から JR 八王子駅へ行く途中でとても人通りが多いため、動物好きの方は思わず立ち寄ってしまうようでした。今は、まだ、ペットを飼うことができなくても、今後、選択肢の一つに保護犬や保護猫を考えてもらえるきっかけになればいいです。来場者に保護犬や保護猫を実際に見てもらい、飼う時の心構えや保護団体から譲渡の流れなども詳しく説明できて良かったです。実際にトライアルを希望される方はホームページで気に入った猫を決めているケースが多かったです。 ホームページの閲覧者も今年はとても増え、様々な相談に対応することが出来ました。はちねことアニマルフードサポート八王子も毎回、参加して下さいました。 フードドライブも盛況で毎回、たくさんのフードのご寄付をいただく事が出来ました。 コロナ禍という事で開催日数は少なかったですが、次の開催はいつですかと言った問い合わせも多数あり、今後も続けていきたいと思っています。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
		主な理由 (3、4 と答えた場合のみ) 今年は約40匹の子猫の保護がありましたが、みんな新しい家族にもらわれていきました。新しい飼い主様には適正飼育の指導を行い、実践していただいています。					
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
		主な理由 (3、4 と答えた場合のみ)					
		効果を表す指標	八王子市保健所に寄せられる苦情の数	本年度目標値	10	本年度実績値	8
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している					
		主な理由 (2、3 と答えた場合のみ)					
	その他、評価すべき点等	はちねことアニマルフードサポート八王子と同時開催することによって、さらに多くの来場者を集めることができた。					

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	設立から3年が経ち、毎年、たくさんの犬や猫の保護を行ってきました。他団体と八王子市保健所とワンチームでこれからも八王子市が動物にやさしい街となるように活動を続けていきたいと思ひます。そして、ボランティア頼みの現在の八王子市の状況を打開して、八王子市と殺処分をしない動物愛護センターを設立することを目指していきます。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		動物の適正飼育の啓蒙活動	
団 体 名		八王子わん♡にゃんクラブ	
項 目		内 容 ・ 内 訳	決 算 額 (円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 ()		
4	団体運営費からの繰入金		783
5			
6			
合 計			100,783
支出の部			
1	消耗品費	のぼり(10,224円)折りたたみテーブル(18,965円)ボールペン・ハサミ・消毒液(1,217円)猫捕獲(35,046円)コンビネーションサークル(11,044円)折りたたみゲージ(8,756円)毛布(5,436円)	90,688
2	印刷製本費	クリアファイル作成発注費	8,655
3	謝礼・報酬	クリアファイルデザイン料	1,000
4	会場借上料・使用料		
5	交通費	別添明細書のとおり (※明細を添付してください)	
6	通信費	送金手数料	440
7			
8			
合 計			100,783

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

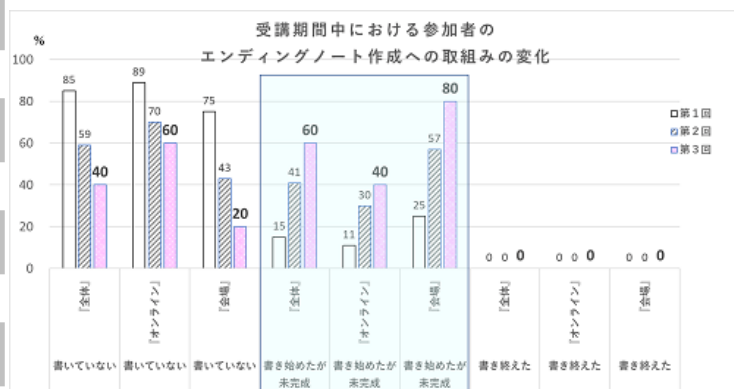
※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和 3 年度 (2021 年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	エンディングノート作成支援事業		
団体名	とうゆう会		
事業費	120,733 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的 エンディングノートは近年重要度が認識されるようになったが、記入項目の多さ、遺言書との違い、長期的に改訂を行っていくという制作スタイルもあって、なかなか着手できないのが現状である。そこで、第三者や専門家からエンディングノートを書き始めるきっかけを与える事業が重要になると考え、本事業では、受講者がエンディングノートの効果を理解し、実際に書いてみるということを目的とした。
	内容 専門家講師による 2 回の講座と 1 回のワークショップの開催（オンライン併用）。オリジナルエンディングノートの作成。八王子東部地域での高齢者福祉関連施設に紹介およびイベントでのエンディングノート紹介と販売。事業紹介の小冊子作製と講演動画 DVD の作成。

事業の活動実績	1-1 講座 (3 日間) (1) 7/18 開催、エンディングノートを知る／医療・介護について学ぶ (2) 8/29 開催、相続について学ぶ、デジタル遺品を考える (3) 10/24 開催、参加者・講師によるワークショップ 1-2 啓発活動 (1) とうゆう会オリジナルのエンディングノートの作成 (2) 東部地区の八王子市地域包括支援センター3 か所と大妻女子大学に連携提案 (3) ゆぎねっと結主催のマルシェ等でのエンディングノートの紹介および販売 1-3 事業報告書作成 活動内容を広く知っていただくため、配布可能な小冊子形式での事業報告書の作成 1-4 講演動画のネット配信およびDVD作成 3 回の講演を録画し、字幕をつけた動画を受講者限定で公開、資料用にDVD作成
	新型コロナウイルス対策実績 講座およびワークショップ ・生涯学習センター南大沢でいずれも実施したが、オンライン（Zoom）での参加も可能とした。約半数の参加者がオンライン参加だった。 ・会場参加者向けに、マスク着用、手の消毒、座席間の間隔確保とパーティション設置を行った。



事業の成果・効果	【1】前回・令和元年度の際には「家族で作る素敵なエンディングノート講座」と銘打った通り、受講者とご家族に必要性や有効性を感じて頂くことを主眼にしていたましたが、相続・終末医療などの具体的な知識も得たいとの要望を受けていました。 そこで、今年度は、行政書士や医療従事者を講師に迎え、より有効なエンディングノート作成を目指しました。また時代の流れであるデジタル遺品にも触れることにしました。 3回の講座アンケート調査から、全く書いていなかった人の半分以上が受講期間中に書き始め、書き始めていた人も完成に向けて大きく進んだことが分かりました（前ページ右下グラフ参照）。エンディングノートは、日々改訂を行う性質を持っていますので、書き終えた方がいなかったのは当然の結果であり、受講生がエンディングノートをよく理解した結果と推測できます。 【2】とうゆう会オリジナルのエンディングノート（様式）を作成しました。これはローカライズおよびパーソナライズを考慮した作りになっています。僅かですが希望者には販売できる態勢も出来上がりました。 【3】地域包括支援センターなどの福祉関係者などとも連携が始まり、地域包括センターから断捨離の講座依頼や大学から高齢者聞き書きで協働などの地域に根差した活動も芽生えてきました。 【4】With コロナで必要となるハイブリッド型の講座（会議室参加とオンライン参加どちらも可）の開催ノウハウ、受講者が後日オンライン再受講するノウハウを獲得しました。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	☒ 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）					
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	☒ 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）					
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	☒ 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ）					
	その他、評価すべき点等	啓発活動を進めるために、書きやすく、扱いやすい（市役所のガイドや終活業者のパンフを入れることでローカライズ・パーソナライズが容易）エンディングノートを作成しました。ご自身だけではなく、子ども世代が親に働きかけるために購入したり、イベントで購入されたりと、啓発活動にも役立ちました。					

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	とうゆう会は、これまで高齢者聞き書きやエンディングノート作成などの「高齢者の頭の中にある知恵、考え、思いなどを文章化する事業」を継続してきました。 高齢者聞き書きやエンディングノートの手法をベースに、地域連携・世代間交流に繋がる活動として大学などとの協働事業に発展できそうです。今までの成果をもとに、持続的な活動になるように財源を含めて検討していきます。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		エンディングノート作成支援事業
団体名		とうゆう会
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	¥100,000
2	その他助成金収入	
3	事業による収入 ()	エンディングノート講座受講料@500円×14人=7,000円 エンディングノート(受講生用)@400円×16冊=6,400円 エンディングノート(一般用)@600円×6冊=3,600円 ¥17,000
4	団体運営費からの繰入金	とうゆう会運営費 ¥3,733
5		
6		
合 計		¥120,733
支出の部		
1	消耗品費	ハイブリット型講座用機器3,932円、 コピー用紙代(1,706円)、インク代(16,254円)、 エンディングノート用バイнда、包装紙(4,847円)、他 ¥30,898
2	印刷製本費	エンディングノート印刷費(12,670円)、 報告書印刷費(100部)7,845円 講座ちらし印刷費(1,670円)、講座資料印刷費等(2,720円) ¥24,905
3	謝礼・報酬	エンディングノート第1回、第2回講座 講師謝金@5,000円×4名=20,000円 ¥20,000
4	会場借上料・使用料	エンディングノート講座×3回、打ち合わせ×3回 八王子市生涯学習センター南大沢、他 ¥6,850
5	交通費	別添明細書のとおり (※明細を添付してください) ¥31,040
6	通信費	郵送、振込費(講師代振込、報告書配布、資料送付等) ¥7,040
7		
8		
9		
10		
合 計		¥120,733

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

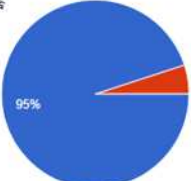
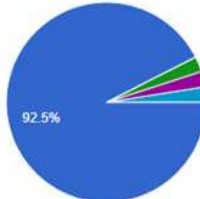
令和 3 年度 (2021 年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子育て支援はママ支援！子育てを地域で支えるための親子の居場所事業		
団体名	一般社団法人親子支援ネットワークたんぽぽの輪		
事業費	990,370 円	補助金額	495,000 円

事業の目的・内容	【目的】 核家族化、地域とのつながりの希薄化、さらに新型コロナウイルス感染拡大により子育て家庭の孤立化が一層進んでいる中、子どもたちが育つ環境である家庭内の問題が増加している。このような状況において、不安やストレスを抱えやすい子育てママパパと繋がり、そして寄り添いながら、専門的な支援を行える環境を作り、親子を見守り支えていくことを目的してこの事業を行う。一番身近な存在である母親との関りは子どもの成長に重要な影響を与えると思われるが、誰しも出産や子育ては初めての体験であり、試行錯誤の連続となる。そのようなママパパたちの近くに専門家としてまた経験者がいる場所を作ること、子育ての負担を支えていく。 また特別な支援が必要と思われるケースについては、行政と連携するとともに関係機関への橋渡しを行うなどネットワークを生かした支援を行う。
	内容 1. 育児支援イベントや相談スペースの定期的開催 2. 家計応援相談会の定期的な開催

事業の活動実績	1. 育児支援イベントや相談スペースの定期開催						
		おさんぽ・ちゃぶ ちやぶひろば	おんがく イベント	月1 ワクワク	たんぽぽ ひろば	わたげ FES	親子 コンサート
	回数	18 回 (中止 1 回)	5 回	8 回 (中止 1 回)	46 回 (中止 1 回)	2 回	1 回
	参加延べ人数	162 人	59 人	54 人	458 人	159 人	124 人
	2. 家計応援相談会の定期的な開催 個別相談に変更し 11 回開催した。						
新型コロナウイルス 感染症対策実績	感染状況拡大のため、3 回のイベントが中止となりました。 開催時は、会場の消毒と換気をし、参加者には手指消毒と体温測定、ご家族を含めた健康チェックと名簿に記入いただきました。各イベントは人数制限を設けて密にならないように配慮しました。 イベント参加者からの新型コロナウイルス感染の報告はありませんでした。						



事業の成果・効果	【参加者の感想】(一部抜粋) ・ コロナ禍の中、イベントがほとんどなくなっていたので開催してくれただけでありがたいです。(わたげ FES) ・ ほのぼのとした雰囲気の中で子育ての悩みを親身に聞いてもらい、励ませてもらいました。明日からも頑張ろうと力ができました。(たんぼひろば) ・ 夫婦間の悩みや妊娠中、育児の不安などをお話できる機会がありとても気持ちが楽になりました。(たんぼひろば) ・ 子供も私もとても楽しく参加しています。何度参加しても飽きません。四季と子供の成長を感じ取り、たくさん素敵な思い出ができました。(おさんぼひろば) ・ 子育て中でコンサートなど行けないので大人向けの曲も演奏していただけたことに感動しました。(親子コンサート) ・ 子供達がそれぞれの楽器を持って、舞台の方々と一緒に演奏でき、普段あまり参加したがない下の子も今までにないくらい、真剣な顔でカスタネットを叩いていたのに驚きました。(親子コンサート)
	【アンケート結果 一部抜粋 (参加家庭数 166 家族)】 1. イベントに参加していかがでしたか？ 40 件の回答  ● とてもよかった ● よかった ● それほどでもなかった ● よくなかった 3. 今後もこのようなイベントに参加したいですか？ 40 件の回答  ● できれば参加したい ● あまり参加したくない ● わからない ● 都合が合えば ● すみません。オミクロン株の影響で今の私の思考がマイナスな状態。平時なら参加したいと思うけど...今はいろんな感情があってわかりません。 ● 私もピアノを幼稚園からやっているので演奏などに参加してみたい！

自己評価

事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（ 3、 4 と答えた場合のみ）					
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（ 3、 4 と答えた場合のみ）					
	効果を表す指標	満足度 （利用者アンケートによる評価）	本年度目標値	80%	本年度実績値	95%
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由（ 2、 3 と答えた場合のみ）					
その他、評価すべき点等	コロナの影響により人数制限を設けながらの実施でしたが、合計 167 家族、延べ約 1000 名の参加がありました。多くの方の参加がコロナ禍により、子育て世帯の行き場が少なくなり、相談できる場が少なくなる中、本事業のニーズは極めて高くなっていると感じました。					

自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	・ 今後もママやパパの居場所として広場事業を開催していくこと。 ・ ママやパパも楽しめるイベントを開催する。 ・ ママやパパのスキルを活かしモチベーション (エンパワーメント) を高める。 ↓ 将来、今本事業に参加しているママやパパが様々な形で支援者となり、地域で子育てができる環境が整えられる。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		子育て支援はママ支援！子育てを地域で支えるための親子の居場所事業	
団体名		一般社団法人親子支援ネットワークたんぽぽの輪	
項目	内容・内訳	決算額(円)	
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		500,000
2	その他助成金収入		0
3	事業による収入	イベント利用料、コンサート参加費他	159,380
4	団体運営費からの繰入金		330,990
5			
6			
合 計		990,370	
支出の部			
1	謝金・報酬	支援者謝金、コンサート演奏者謝金、家計相談謝金等	613,960
2	消耗品・材料費	事務用品費、材料費、イベント備品等	131,791
3	広告宣伝費	パンフレット作製費、チラシ作成費、印刷費等	166,491
4	会場費	会議室使用料、コンサートホール使用料等	71,800
5	衛生費	消毒液、ゴミ袋、体温計等	6,328
6			
7			
8			
9			
10			
合 計		¥990,370	

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和 3 年度 (2021 年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子どもの居場所作りと、親子交流のダンス教室		
団体名	poakaka		
事業費	1,412,801 円	補助金額	333,000 円

事業の目的・内容	目的 ダンスを通して、他校や異年齢の子ども、大人と交流する事ができます。同じ時間帯で同じフロアと一緒にレッスンしますので子どもから大人までが助け合い、一つの作品を作ることができます。そしてそれをステージで披露する事の喜び・達成感・充実感を経て個々の自己肯定感を高める事ができます。多世代交流の機会をつくり、子どもたちの居場所作りができ、尚且つ学校以外の世界をすることにより、子どものフラストレーションの解消にもつながり、引きこもりなども抑制できる。そう考えています。実際、学校に行けない子どもでもダンスなら行くと言って外出する機会を作ることもしました。
	内容 毎週土曜日 13:00~17:00 に近くの市民センターやスタジオを借りてレッスンしています。小学 1 年生~大人までが同じフロアと一緒に学びます。主に HipHop ダンスや子供・大人に人気のある K-POP も学べます。

事業の活動実績	・年 60 回のダンス教室と親子ダンス交流 ・いちょうホールでのダンス交流会と発表会 ・子ども食堂への参加 ・恩方みまもり隊への参加
新型コロナウイルス感染症対策実績	日々の検温調査、練習前後の消毒、ステージ開催時には受付に非接触型検温機を設置し、スタッフによる検温、着席時の会話制限アナウンスなどに努めました。



事業の成果・効果	年間 48 回の予定だったダンス教室を 60 回開催する事ができました。大きなステージに立つ事を目標にすることにより、登校できなくなり引きこもりになっている子ども達のモチベーションを上げ、親子でダンスを学ぶ事の楽しさを知ってもらえた事が何よりも嬉しかったです。 新型コロナウイルスによる環境の変化で、大人も子どもも疲弊し、先の見えない不安を抱えている事をダンスに来ている子ども達から聞きました。 大人は仕事の環境が変わり、子どもはそれにより通常の生活ができなくなっていました。その為、別の団体で子ども食堂を立ち上げました。そこに poakaka に参加している子どもの保護者を協力隊に招き、子ども食堂の運営に沢山の協力を募りました。いちょうホールでのステージが大成功し、観客の方にそういった地域の活動をより多く知ってもらえ、更にボランティアの人が増えました。 今では、近くの中学・高校・大学生がダンス教室とは関係なく、地域活動に協力してくれています。 それは、親子交流のダンス教室を通して、子どもの居場所作りができたからこそ、広がった支援の輪だと思います。それにより、以前から活動している恩方地区見守り隊のボランティアも増えました。PTA や青少対への協力は、なかなか増えないのが現状ですが、子どもの居場所を通しての保護者の輪はとても広がりやすい事を感じています。多くの親が、自分の子ども以外の子どものと関わる事は、地域で子どもを見守り・育てる意味でもとても大切な事だと思います。
----------	---

自己評価

事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）					
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）					
	効果を表す指標	地域の活動に参加する人数	本年度目標値	20	本年度実績値	40
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している					
	主な理由（2、3と答えた場合のみ）					
	コロナウイルスの影響で小さいホールが借りれず、大ホールに変更になったことにより支出が思ったより多かった					
その他、評価すべき点等	地域活動を通して学生との関わりが増え、学生が抱える悩みを知ることができた。					

自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	今年度は誰でも参加できる低料金での塾ができればと思います。 リモートなどで学習の遅れが目立ちます。 高額な塾に通えない子どもの支援ができるようにさらに地域の輪を広げて行ければと思います。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		子どもの居場所作りと、親子交流のダンス教室	
団体名		poakaka	
項	目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		333,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 (会費等)	2,000円×256=512,000円 1,500円×105=157,500円 1,000円×8=8,000円 2,500円×25=62,500円 3,000× 21=63,000円	803,000
4	団体運営費からの繰入金		26,801
5	寄付金	悠侑電設様100,000円・ONE&ONE様100,000円 円秀ランドスケープ様50,000円	250,000
6			
合 計			1,412,801
支出の部			
1	消耗品費	USBケーブル・ペンライト・舞台幕・テプラテープ等その他	¥74,246
2	印刷製本費	チラシ制作・印刷、ポスター印刷、チケット印刷	¥18,535
3	謝礼・報酬	3,000円×3人×60回	¥540,000
4	会場借上料・使用料	市民センター、エスフォルタアリーナ他	¥188,720
5	交通費	会場使用時駐車場	¥9,300
6	通信費		
7	イベント開催費	いちょうホール94,000円×2 舞台照明237,600円 いちょうホール21,000円・いちょうホール75,400円	¥522,000
8	ホームページ制作費	ホームページ作成・協力者3人×20,000円	¥60,000
9			
10			
合 計			¥1,412,801

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和3年度(2021年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	高尾・浅川の野鳥図鑑の出版と企画展の開催		
団体名	八王子・日野カワセミ会		
事業費	2,320,770 円	補助金額	500,000 円

事業の目的・内容	目的 本会が実施している35年間の野鳥継続調査結果によると、野鳥の総羽数の減少が明らかにされています(数え上げた浅川流域の野鳥Ⅲ; 八王子・日野カワセミ会)。しかし、「八王子は緑が多く自然に恵まれている」と多くの市民は認識しています(市政世論調査2021年)。野鳥の住む自然環境の変化と市民の自然に対する意識のギャップを埋め、人も野鳥も安心して住める環境の創出に寄与することです。
	内容 ・「高尾・浅川の野鳥図鑑」は、浅川流域等の野鳥調査で確認した244種の中から主な鳥100種を選びコンパクトで分かりやすく紹介しています。また本書はQRコードを使い本会ホームページにアクセスすると、野鳥の鳴き声を聞き、探鳥スポットを知ることが出来る仕様としました。ホームページは随時更新しますので「成長し続ける図鑑」となっています。 ・企画展は昨年11月に学園都市センターで1週間開催し、高尾・浅川の野鳥のカウント調査35年間の記録の報告、「高尾・浅川の野鳥図鑑」の紹介や会員の作品等を展示しました。
事業の活動実績	・「高尾・浅川の野鳥図鑑」の出版は、カワセミ会発足35周年事業のひとつとして、編集委員会を立ち上げ市内の出版社の助言を得ながら、約40回の委員会を開催し出版しました。図鑑に使用した写真は会員が撮影したものを使用しています。販売は、会員による直売、地元出版社と協働して書店での店頭販売やアマゾンによるネット販売等も行いました。また、関係団体やマスコミ等にお願ひし宣伝活動も併せて実施しました。 ・企画展は35周年記念事業の一つとして、図鑑の出版に合わせて11月に開催し図鑑の内容の紹介や宣伝とともに35年間の調査記録をまとめ分析して展示しました。約800名の市民に来場頂きました。また、8～9月にはWebによる野鳥写真展をカワセミ会HP上で開催しました。
新型コロナウイルス感染症対策実績	「全ての活動はマスク着用、間隔をあける。」を基本に、参加前の検温、帰宅後のうがい手洗い等の感染予防に務めました。屋内の活動は、当該施設の指示により換気、時間短縮に努め、探鳥会等の屋外活動は望遠鏡の使用はやめ、双眼鏡のみとしました。緊急事態宣言発出時は当会主催の活動は全て中止とし、調査活動は担当者のみで実施することとしています。特に、企画展では屋内でのイベントであるため「新型コロナ対応マニュアル」を作成して、それに基づいて対応実施しました。



事業の成果・効果	・「高尾・浅川野鳥図鑑」の出版では、2000冊を出版し、図書館、関係部署、市内の各小学校、関係団体等に寄贈し、残りは会員による直売、市内の書店やアマゾン等で委託販売しました。好評で発売早々に完売し出版社でさらに2000冊増刷し販売しています。本年度の販売目標の800冊を達成しました。カワセミ会主催の探鳥会、調査活動や各種支援活動の際に、参加者や担当者が本図鑑を持参して参照しながら活動する姿も見られます。 また、本図鑑販売後市内の書店の店頭で図鑑のポスターが掲示され、店頭で図鑑が並べられ、一時期売れ筋ランキングのベスト2に選ばれたこともありました。 ・企画展は、カワセミ会発足以来5年毎の節目の年に実施している野鳥展です。今回も市民800人余の方々に参観して頂きました。会場でのアンケート（回収数436枚）に寄せられた声の一部を紹介します。興味を持たれたものは「TVのダーウィンが来たで知ったイソヒヨドリの市内での生息確認マップで、実際の巣の展示が興味深い。」また、目撃情報も寄せられました。「鳥の増減がよくわかった。身近な鳥スズメの減少など分かった。」野鳥図鑑では「身近な図鑑は便利。」「日常的に携帯したい。」「よくまとまっていて欲しくなった。」ジュニアクラブの展示には「子供の活動を広げていることへ賛同した。」「野鳥を通じて心が育っている。」「子供らしい自由でユニークな表現や日頃の鋭い観察から生まれた表現がすばらしい。」全体では「心いやされた。」「次回が楽しみ。」等々。 また、多くの方から野鳥の増減や調査活動の成果に賛同や関心の意見が寄せられ、環境や自然保護の問題として捉えているようです。企画展が、自然や野鳥に関心を持つことの一助になっているようです。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）					
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）					
		効果を表す指標	野鳥図鑑の販売冊子数	本年度目標値	図鑑販売；800冊	本年度実績値	売上数1,076冊、増刷
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ）					
	その他、評価すべき点等						

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	・令和3年年11月に学園都市センターで開催した企画展で展示したパネルを有効活用し、令和4年5月～6月に長池公園自然館展示室で長池公園とカワセミ会が共催（八王子市後援）し野鳥展を開催します。 ・他の団体から毎年数回依頼を受ける野鳥観察会の支援や講演会の時に「高尾・浅川野鳥図鑑」を積極的に活用する。 ・令和3年8～9月にカワセミ会HP上で開催したWebによる野鳥写真展を発展させて「八王子日野の野鳥生態アルバム」をカワセミ会HP上に開設しました。 ・「高尾・浅川野鳥図鑑」に組み込んでいるQRコードを使って聞くことのできる野鳥の声の拡充や探鳥スポット案内のマップの情報の更新拡充をカワセミ会HP上で行います。 ・令和4年度、5年度も図鑑の完売を目指し販売宣伝活動に取り組みます。 ・引き続き調査活動等に取り組み基礎資料の収集を行い、会発足40周年記念事業（企画展等）の準備をします。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		高尾・浅川の野鳥図鑑の出版と企画展の開催	
団体名		八王子・日野カワセミ会	
項目		内容・内訳	決算額（円）
収入の部			
①	市民企画事業補助金 （今回使用額）		500,000
②	その他の助成金収入		0
③	事業による収入 （図鑑売上）	会員個別販売：456冊×990円＝451,440- 書店卸：600冊×495円＝297,000- ホビーズワールド：10冊×693＝6,930- 一括売（ふじ棚）：10冊×700＝7,000- 増刷分配当：一式158,400-	920,770
④	団体運営費からの繰入金		900,000
合 計			2,320,770
支出の部			
①	消耗品費		2,686
②	印刷製本費	図鑑印刷製本1,177,000-、パネル印刷 46,960-、チラシ印刷等49,235-	1,273,195
③	謝礼・報酬	公開野鳥講演会（外部講師1名）	20,000
④	会場等使用料	企画展会場使用料252,000-、 会議室使用料等7,100-	259,100
⑤	交通費		0
⑥	通信費	資料送付、メール便等、振込手数料440	18,718
⑦	写真プリント		0
⑧	運搬費	野鳥展物資搬入に係る駐車料金	7,600
⑨	Web写真展用アプリ使用料	Bindup使用料	32,736
⑩	団体への繰入金		706,735
合 計			2,320,770

参考；図鑑売上額内訳

カワセミ会直販 456冊；451,440-
 書店等委託販売 620冊；310,930-
 増刷分配当金 158,400-
 計 1,076冊 920,770-

令和3年度(2021年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地産地消地活の日本酒「高尾の天狗」酒米づくりプロジェクト		
団体名	NPO法人 はちぷろ		
事業費	522,271 円	補助金額	174,000 円

事業の目的・内容	目的 地元の農産物の周知・消費喚起と、観光農業など農業を中心とした地域の産業振興一連の農業体験及び酒造り体験を通じて、加住地区高月町で生産された高月清流米や、パッションフルーツ、幻の豚肉東京エックス等の地域の特産品の認知度を上げるとともに、新商品の試食会等を通じ新たな市内消費を喚起するとともに、観光農業の可能性も探るなど、本市の新たな産業の振興に資する。
	内容 高月町の田園風景を舞台に、一般市民に酒米作りから清酒「高尾の天狗」が出来るまでの一連の工程を体験してもらい、新たな農業の担い手の確保を図るとともに、本市の農産・特産品を周知し、新商品の開発と試食会等も行うことで、地域農業の維持・振興と新たな市内産業の振興を図る。 【開催概要】 酒米作りから清酒製造の一連の工程（田植え・草刈り・稲刈り・等級検査・酒蔵見学（長野県諏訪市）・新酒試飲会）を専門家である農家、杜氏、製造業経営者の指導の下、通年で体験する。 【対象者】 市内在住の一般市民を中心に延べ約 240 人の参加を見込む。

事業の活動実績	・2021年6月5日 第一弾 高月町田園にて田植えイベント開催。高尾の天狗の原料となるお米作りのための田植え作業。19名参加。 ・2021年7月10日 第二弾 草刈りイベントの開催。19名参加。田植えをした苗の周りに生える雑草を取る非常に地味で大変な作業。 ・2021年9月25日 第三弾 稲刈りイベントの開催。27名の参加者でお米の収穫作業。 ・2022年1月予定していた酒蔵造り見学研修はコロナ感染対策の為中止となる。
新型コロナウイルス対策実績	3回のイベントの際、朝の集合時に検温検査、田んぼ作業時ではソーシャルディスタンスの確保を万全に行った作業を実施。昼食時前にもう一度検温検査、アルコール消毒、アクリル板設置をし、万全な対策を取った。



事業の成果・効果	・酒米を増やすことを目標に掲げ、高月町の酒米増産に伴い農家さんの収入維持、田園の景観維持を保っている。又、高月町地区だけではなく、川町、川口、式分方、平山、恩方の農家さんへも寄与している。 ・高月地域での魅力発信のためのまちづくりはコロナでペンディングとなっているが、計画がとん挫しているわけではない。高月の田園の前に「酒蔵」を作る！ が最終目標ではあるが、その前の段階で今年の暮れ、若しくは年明け早々に、八王子の街中のある場所で小さい日本酒の醸造所の建設を予定している。 ・地域の特産であるパッションフルーツを原料にパッションフルーツシロップを製造し、業務用酒販店の力を借り、八王子の飲食店でパッションシロップサワーとして喜ばれている。 ・米から取れる、米粉、酒粕を利用した商品開発を研究している。 実例として、八王子学校給食にて米粉、酒粕を献立として活用していただいている。
----------	---

自己評価

事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
	主な理由（3、4と答えた場合のみ） 4回目の酒蔵仕込み見学ができなかった					
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）					
	効果を表す指標	酒造り体験イベントの参加延べ人数及び常時援農ボランティアの人数	本年度目標値	約 240 人/10 人	本年度実績値	参加人数延べ 60 人、その内農家さん 7 名
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している					
	主な理由（2、3と答えた場合のみ） コロナの回復がなく、稲刈りの大イベントが少人数となってしまった。 2022 年 1 月の酒蔵仕込み見学が止む無く中止。					
その他、評価すべき点等	地域農業の振興、担い手の発掘、農業を中心とした地域の産業振興など					

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	参加希望者が多いが、コロナの状況次第。 少人数でのイベントは行っていく。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		地産地消地活の日本酒「高尾の天狗」酒米づくりプロジェクト	
団 体 名		NPO法人はちぶろ	
項	目		決 算 額 (円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		489,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入	【田植え】会費 大人 1,000円×17人＋子供500円×2人(18,000) 【草刈り】会費 大人1,000円×16人＋子供500円×3人(17,500) 【稲刈り】会費 大人1,000円×27人(27,000)	62,500
4	団体運営費からの繰入金		-29,229
5			
6			
合 計			522, 271
支出の部			
1	消耗品費	【共通】マイクとスピーカー(173,800)、【共通】アクリル板20枚(35,480)、【共通】検温器 4個(99,150)、【田植え】ゴミ袋他雑貨(15,811)	324,241
2	謝礼・報酬	【田植え】設営手伝い謝礼金1万×5人(50,000)、【草刈り】設営手伝い謝礼金1万×5人(50,000)、【稲刈り】設営手伝い謝礼金1万×5人(50,000)	150,000
3	運営費		0
4	会場使用料	【田植え】集会所使用料(10,000)、【草刈り】集会所使用料(10,000)、【稲刈り】集会所使用料(10,000)	30,000
5	厚生費		0
6	通信費	【共通】振込手数料	1,980
7	保険料	【田植え】傷害保険料(5,250)、【草刈り】傷害保険料(5,400)、【稲刈り】傷害保険料(5,400)	16,050
8			
9			
10			
合 計			¥522, 271

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和 3 年度 (2021 年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	とんとんむかし～CDおよびDVD制作～		
団体名	高尾山とんとんむかし語り部の会		
事業費	829,979 円	補助金額	400,000 円

事業の目的・内容	目的 当団体は、語り部の語りを通して八王子の豊富な昔ばなしの面白さ、民情、歴史を身近に感じられるよう、保育園、小学校等で定期的に出前語りを行ってきた。市内 70 校の小学校に広めるためには、本を提供してきた経緯があるが、すぐに使用できる DVD や CD は有効な手段であると考えた。また、市民全体に向けても、八王子の昔ばなしを通して地元の歴史や伝統に触れることで、より八王子への理解と愛着を深め、住んでいる土地への誇りを持つことができるのではないかと考え、八王子の昔ばなしにいつでも触れることのできる DVD と CD を制作することとした。
	内容 八王子の昔ばなしは市内全域に残されているが、その中でも市民に共有される「高尾山編 9 話」と「八王子十五宿編 8 話」を選出し、二巻の DVD を制作した。また、「子供と楽しむ八王子の昔話 10 話」、病に関わる話をまとめた「八王子の疫病 11 話」を CD 制作した。

事業の活動実績	実行委員会が中心となり毎月実行委員会を開催し、事業の推進を行った。また、役員会との協力を得て、より実践しやすい環境の下、活動を行い、12 月末に DVD2 巻 CD2 枚を完成。 12 月 23 日(木) 長池小学校 6 年生 3 クラスに、八王子十五宿編 DVD を用いての授業実施。 1 月 27 日(木) 第三小学校 4 年生 3 クラスが町歩き学習における地域を選ぶために、コロナ禍で語れない語り部の代わりに CD と DVD を用いての学習を提供。 2 月 26 日(土)、会場クリエイトホールにて「とんとんむかし～DVD 完成記念発表会」を開催。130 余名が参加、感想を多数いただいた。 3 月 15 日(火) 協力団体への報告と DVD の寄贈。
新型コロナウイルス感染症対策実績	収録スタジオの環境について 定員を守り、常時換気・出入りはベランダより・入室前の体温、体調チェック・手指の消毒、机等の接触面の消毒・マスク着用・アクリル板の設置・使用時間と氏名の記入等を実践。 出前語りについて 各学校・各保育園の決定に従って中止・実施の判断とした。実施会場は教室以上の広さ。実施の場合はマスクをした語り部の語りを子供たちは自席にて聴くこととした。

事業の様子または成果がわかる写真



事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	長池小学校 の成果・効果 八王子十五宿の成り立ちを語る「長安様の町づくり」や「松姫さまの糸毬ゆらり」を聞き市の歴史に興味を深めたとの感想があった。DVD 中の「千人同心と日光勤番」は校外学習先、日光について、「八王子とのつながりが改めて理解できた」、「行く前に知っておきたかった」、等の感想があった。 第三小学校 の成果・効果 学校周辺に伝わる昔話を聞き、その土地、建物、史跡を調べ、訪ねることで自分の住む町を好きになるきっかけとして行う、4 年生町歩きの総合学習。DVD が作れたことで、コロナ禍の下でも語りを届けられた。 とんとんむかし～DVD 完成記念発表会～ の成果・効果 アンケート結果より (蔓延防止措置の中 130 余名の参加者) * プログラムの内容 良い 79 人 普通 9 人 もう一工夫 1 人 * DVD を全て見たいか 見たい 74 人 見たくない 2 人 全てでなくて良い 1 人 * DVD を出前語りに利用 良い 81 人 普通 9 人 悪い 0 人 わからない 1 人 感想を書いてくださった方 60 人 どの感想も今後の活動に生かせるものばかりで、ありがたく頂戴した。2 例を記載。 「映像も音質も素晴らしかったです。一人一人味のある語り部でした。八王子の昔話を多くの方々、子供たちに語り継いでほしいと思います。」「素晴らしい語りで感動しました。昔ばなしの中に千人同心と日光勤番を入れて歴史の学習、新しい形でよいと思いました。」

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4 と答えた場合のみ)					
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4 と答えた場合のみ)					
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3 と答えた場合のみ)					
	その他、評価すべき点等	コロナ禍の下、思うように語りができなかった時期に記録として残る昔ばなしの DVD の作成に挑戦し、完成させることができた。また複数の小学校での活用実績により、学校現場での利用促進に確信が持てた。					

自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	・ 八王子市内の小学校 70 校へ DVD 二巻を寄贈し、どの様に活用できるかを提案していきたい。 ・ 市民各年齢層に向け、機会あるごとに八王子の昔話を伝え、八王子への愛着と誇りが育成されるようにつなげていきたい。 ・ 次なる DVD の制作に向けて、調査・検討を継続して行っていきたい。 ・ 今年度の活動により新会員の増加もあり、語り部の育成に努めたい。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		とんとんむかし ～CDおよびDVD制作～	
団体名		高尾山とんとんむかし語り部の会	
項目		内容・内訳	決算額(円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	八王子市民企画補助金	400,000
2	事業により収入 (DVD販売収入)	DVD売上 セット(DVD2枚 CD2枚 計5,000円 × 10セット)	50,000
3	団体運営費からの繰入金	高尾山とんとんむかし語り部の会	379,979
4			
5			
6			
合 計			829, 979
支出の部			
1	消耗品費	①DVD CD ケース 文具 149,672円	149,672
2	印刷製本費	②インク 用紙 36,978円	36,978
3	謝礼・報酬	③謝礼(交通費)209,000円 ③外部講師 謝礼171,815 円	380,815
4	会場借上料・使用料	④発表会場 39,650円 スタジオレンタル 164,000円	203,650
5	交通費	別添明細書のとおり ⑤駐車代2,930円 ⑤交通費 55,060円 (※明細を添付してください)	57,990
6	通信費	⑥郵送費	874
7			
8			
9			
10			
合 計			829, 979

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和 3 年度 (2021 年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域の自然資源を活用した「里山子ども食堂農園」及び「農業体験教室」の開設・運営事業		
団体名	特定非営利活動法人小津倶楽部		
事業費	752,499 円	補助金額	500,000 円

事業の目的・内容	< 主な目的 > 【子ども食堂利用者の自然体験等教育機会の創出】 ・余暇体験等を楽しむ機会が相対的に少ないと考えられる子ども食堂利用者等に対し、本市の特徴である都市と里山の近接性を活かし、自然体験教育の機会を提供する。
	< 主な内容 > ・NPO 法人小津倶楽部が、(一社)フードバンク八王子及び NPO 法人ポケットパークと連携し、地域の耕作放棄地を再生した農地を活用して、「小津里山子ども食堂農園」を開設・運営するとともに、四季の地域の自然資源を活用した「小津子ども里山体験教室」を通じ、市内の子ども達に、自然体験・農業体験等の教育機会を提供する。

事業の活動実績	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、東京都による緊急事態宣言の発出期間が、令和 3 年 4 月 25 日から 9 月 30 日までとなり、同期間中に計画していたイベント「里山体験教室」の開催を見送り、計 4 回の開催を 2 回の開催とした。 ・令和 3 年 11 月 14 日 『小津で過ごす秋の 1 日里山体験』 参加者 大人：14 名 小学生：5 名 幼児：12 名 合計 31 名 スタッフ：18 名 ・令和 4 年 3 月 27 日 『冬の木こり体験(シタ植菌 / 薪割り)』 参加者 大人：15 名 小学生・幼児：10 名 合計 25 名 スタッフ：15 名 ・各月 1 回の「子ども食堂農園」の農作業体験については、感染対策を行いながら実施し、延べ 100 人以上が参加した。
新型コロナウイルス感染症対策実績	・本事業に関する作業及びイベント等の実施にあたっては、「小津倶楽部版 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(令和 3 年 1 月 9 日策定・公表)」を遵守し、実施した。 ・活動すべてを屋外活動とし、「三密の回避」「活動前の検温、体調確認及び手指消毒」「マスクの常時着用」「手洗い等手指消毒の徹底」「手袋の着用」「機材等の共有使用の回避」「食事時の黙食、距離の確保」等を徹底して行った。

事業の様子または成果がわかる写真



事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	○事業者側が期待した効果 【子ども食堂運営の多様化】 経営者側が新たな物的・人的地域ネットワークを得て、多様な課題に対応可能に。 成果 - > 今回の取り組みは参加した子ども食堂側に変好評価であり、今回関わりを持った3つの子ども食堂において、当該の里山活動が、今後の各子ども食堂の活動の一環に組み入れられた。 【地域文化の継承】 暗黙知として埋没した地域文化が食を通じて明示化され、新たな担い手に継承される。 成果 - > 参加者が畑づくりから野菜の栽培、料理作りを一連で体験した。 【地域まちづくりの実現】 関係人口を増やし、新たな協力者を得て、持続的な地域まちづくりが可能に。 成果 - > NPO のまちづくり活動が周知され、常時の活動参加者が増加した。 ○参加者側が期待した効果 【生活の質的向上】 非日常的な里山に触れて知ること、生活が質的に向上しシビックプライドが醸成。 【市独自のライフスタイルの実現】 人的ネットワークで「都市」「農村」をつなぐ「里山暮らし」が実現。 成果 - > 畑づくりやうどん作り、薪割りなどの活動について、初めて体験したという参加者が、常時の活動にも参加するようになるなど、里山での活動がそれぞれの生活やライフスタイルに反映された。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4 と答えた場合のみ)					
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4 と答えた場合のみ)					
		効果を表す指標	子ども食堂農園の面積 活動参加者数 (延べ人数) 農産物生産量	本年度目標値	100 m ² 200 人 200 kg	本年度実績値	100 m ² 160 人 220 kg
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3 と答えた場合のみ) ・ イベントの開催回数変更と関連交通費の減少 ・ 農園管理運営費の変更					
	その他、評価すべき点等	・ 活動に伴い、活動理念に共感した新規協力団体を獲得した。 (子ども食堂「ほいっぷ食堂」「恩方キッズ」「Yottette(よってって)」)					

自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	・ 令和3年度は、必要機材等を調達し、事業を安定して継続可能な体制を整えた。 ・ 令和4年度及び5年度は、前年度の結果を分析し必要に応じて運営の改善を図るとともに、補助金の減額分をクラウドファンディング等や市内企業等の寄付等で担保するなど、継続可能な事業スキームについて検討・構築する。 ・ また、「子ども食堂農園」の面積、活動参加者及び農産物生産量は、可能な範囲で拡大・充実を図る。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		地域の自然資源を活用した「里山子ども食堂農園」及び「農業体験教室」の開設・運営事業	
団 体 名		特定非営利活動法人小津倶楽部	
項 目	内 容 ・ 内 訳		決 算 額 (円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	—	500,000
2	その他助成金収入	—	
3	事業による収入 ()	参加者から徴収分、事業者からの寄付等	9,500
4	団体運営費からの繰入金	主催団体の会計から自己資金を繰り入れ	242,999
5			
6			
合 計			752,499
支出の部			
1	消耗品費		149,448
2	印刷製本費		
3	謝礼・報酬	農園管理運営費等	260,000
4	会場借上料・使用料	会場管理費等	20,000
5	交通費	貸し切りバス等	
6	通信費		
7	農業資材費	苗代、資材(マルチ、支柱、ネット類一式)、土農具等	294,091
8	雑費	イベント保険料等、イベントスタッフ人件費等	28,960
9			
10			
合 計			¥752,499

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和 3 年度 (2021 年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	広がれ！八王子冒険遊び場 ～遊びで育つ子どもの生きる力～		
団体名	みはらしプレーパークの会		
事業費	790,163 円	補助金額	498,000 円

事業の目的・内容	目的 スマホやゲームの普及、塾や習い事などにより、子ども同士で群れて遊ぶ機会の減ってしまった昨今の子ども達に、自然に触れ合ったり五感を使って外遊びをする場を設け、遊びを通して子どもの健全な生育に欠かせない様々な挑戦が出来る環境や、子ども同士で育ち合う機会をつくる。また、地域の大人たちも来やすい場を心掛け、孤立しがちな小さな子どものいる世帯や祖父母など様々な世代の交流の場も担い、地域の繋がりが得られる場をつくる。
	内容 みはらしプレーパークが活動拠点とする八王子みなみ野の宇津貫緑地の他、八王子市子どもキャンプ場、小田野中央公園を新拠点として、未就学児から小学生を中心とした子ども達の豊かな外遊びを目的としたプレーパーク(冒険遊び場)を開催し、広く八王子市の子育て世帯の親子に体験してもらい機会を設け、プレーパークの活動の理解を広めるとともに、運営していく親たちの担い手の育成を図る。 また、豊かな外遊びが子どもの成長に与える利点を伝える講演会を 2 回開催する。

事業の活動実績	●「みはらしプレーパーク」(宇津貫緑地) 2021/6/20 7/3 8/14 10/3 12/5 2022/1/30 3/21 全 7 回開催 ●「ジョイ・パーク」 2021/11/13 (八王子子どもキャンプ場) 2022/3/12 (小田野中央公園) 全 2 回開催 ■講演会「遊育のススメ～遊びで育つ子どもの根っこ」2021/4/25 講師：天野秀昭氏 オンライン開催 100 名程度参加 ■講演会「居場所のちから」2022/2/11 講師：西野博之氏 オンライン開催 100 名程度参加 八王子市との共催 その他、11/7 はちりんピック(富士森公園陸上競技場)出展など、親子イベントに出張
新型コロナウイルス対策実績	【プレーパーク開催時】 受付にて来場者に「マスクの着用」「体温測定」「連絡先記入」「こまめな手洗い」「アルコール消毒」などを呼びかけた。遊具の設置、動線なども密を出来るだけ回避するよう心掛けた。焚き火周辺や遊具など、密になりそうな時はスタッフで声をかけるなどした。以前行っていた具材持ち寄り鍋や調理は中止し、食事は家庭ごとにシートに分かれて摂ってもらうようにした。 【講演会】オンライン開催に変更した。



事業の成果・効果	【プレーパーク開催】 コロナ禍で予定通り開催できなかった日程もあったが、NPO 法人八王子子ども劇場と共にプレーパークの開催を月 1 回程度、市内数か所の拠点を持って行うことにより、より市内の広範囲の子ども達に外遊びの機会を与え、親子の交流の場の提供することができた。「みはらしプレーパーク」における子ども劇場による絵本読み聞かせや「ジョイ・パーク」におけるみはらしプレーパークスタッフのサポート・道具の貸し出しなど、団体間で協力しながら開催した。天候にもよるが、毎回 30 人～280 人程度の参加者があった。多数の参加者があった開催日も 2 団体からスタッフを増員して対応したことにより、安全確保やコロナ感染防止対策ができた。スタッフの知識習得や意識の共有にも努め、今年度も幸い大きな事故や怪我はなかったが、プレーパークの周知活動の効果もあり、多少の怪我があっても「ケガと弁当は自分持ち」というプレーパークのモットーを理解している参加者が増えた。また開催頻度を上げることにより、プレーパークならではのダイナミックな遊び方にも長けてきた様子なども見受けられるようになった。 準備や片づけなどにも自主的に参加してくれる人も増え、‘みんなでつくる地域の居場所’という概念もだいぶ浸透したと感じられる。子どもの遊び場のみならず、大人も共に遊ぶ姿や、ベゴマ台を挟み昔遊びを伝授する姿、焚き火を囲んで知らない人同士が対話を楽しむ姿など、遊び場だけではなく、多世代にとっての居場所となり得ていると感じる。次はいつか、楽しみにしているという声も多く聞くことが出来た。 【講演会】 プレーパークや外遊びが子どもの育ちに与える利点などの理解を深める為、講演会を開催。(共にオンライン) ● 4 月 25 日 天野秀昭氏(日本初の職業プレーリーダー)講演会「遊学のススメ」 ● 2 月 11 日 西野博之氏(特定非営利活動法人フリースペースたまりば理事長)講演会「居場所のちから」 各回 100 名ほどの参加者があり、事後交流会なども計画。今後の活動への協力者を募る。 【その他】 事業計画外でも市内の親子イベントなどにも多数出張し、多く市民に「遊び」を通じて子育て支援活動にも寄与できたと感じる。市内にてプレーパークの活動を 15 年ほど行って来た「みはらしプレーパークの会」と長らく八王子の子ども達の為の文化・芸術活動を行ってきた NPO 法人八王子子ども劇場の互いの持ち味や強みを相互に生かしながら、八王子の子どもが生きる力を育む機会を協働で作り上げられた 1 年となった。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ) コロナや緊急事態宣言の状況により開催時期や場所を変更したりしたが、プレーパークの開催回数は予定通り開催できた。「川崎夢パーク」への視察ツアーは感染防止の為中止。また講演会 2 回は共にオンライン開催へ変更。うち 1 回(2 月)は市との共催に変更になり、対象外。										
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	(1) できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ) <table border="1"> <tr> <td>効果を表す指標</td> <td>活動拠点の数</td> <td>本年度目標値</td> <td>2</td> <td>本年度実績値</td> <td>3</td> </tr> </table>					効果を表す指標	活動拠点の数	本年度目標値	2	本年度実績値	3
	効果を表す指標	活動拠点の数	本年度目標値	2	本年度実績値	3						
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ (2) 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) コロナの影響により「川崎夢パーク」視察ツアーが中止となり、参加費収入、バスレンタル費がなくなった。また 2 月の講演会が市との共催になり、謝金等の支払いが対象外となった。										
その他、評価すべき点等	定期的な開催・講演会などによる周知活動などにより、プレーパークに関しての理解者が増え、親子イベントなどへの出張依頼も増加。経験やノウハウを増やし、事業化へのステップを踏んだ。											

自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	今後もプレーパークの定期的な開催、活動拠点の拡大を図り、多くの親子に参加してもらおうと共に、活動への理解と支援を求めていく。資金面においても賛同者を増やし、市内の個人・団体から寄付金を募る。また市内の企業や市民団体とも協働し、互いに活動を援助できるような関係性を築く。スタッフも野外活動指導や危機管理技術の習得など自己練磨を重ね、より安心で安全な子ども達の遊び場運営・地域の居場所づくりを目指す。
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称		広がれ！八王子冒険遊び場 ～遊びで育つ子どもの生きる力～	
団体名		みはらしプレーパークの会	
項目		内容・内訳	決算額(円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		498,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 ()		
4	団体運営費からの繰入金		188,258
5	寄付金	みはらしプレーパーク開催時カンパ	103,905
6			
合 計			790,163
支出の部			
1	消耗品費	ガムテープ、軍手、毛糸(工作材料)等	¥30,950
2	印刷製本費	団体リーフレット印刷代、プレーパーク開催告知チラシ印刷代等	¥18,670
3	謝礼・報酬	プレーリーダー謝礼、チラシデザイン費等	¥421,000
4	会場借上料・使用料	ZOOM利用料	¥7,370
5	交通費	プレーパーク開催時スタッフ交通費	¥22,500
6	手数料	振込手数料	¥930
7	保険代	プレーパーク開催にかかる保険代	¥12,100
8	備品代	電動工具、体温計、木材、焚き火台、収納ケース、カラーボール等	¥276,643
9			
10			
合 計			¥790,163

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

5 交付団体連絡先一覧

区分	団 体 名	代表者名	連絡責任者		
			氏 名	住 所	電話番号
A 活 動 支 援 部 門	つつじヶ丘自治会グリーンチーム	飯田 勝	阿部 征夫	八王子市横川町	090-8811-1807
	八王子愛TV実行委員会	小島 ゆり子	小島 ゆり子	八王子市元横山町	042-623-7423
	一般社団法人吉拾百千万の会	深津 孝雄	深津 孝雄	八王子市狭間町	090-2238-5809
	西武北野台子ども文庫	大橋 道代	大橋 道代	八王子市北野台	042-636-7769
	八王子わん♡にゃんクラブ	野下 由希子	野下 由希子	八王子市元八王子町	080-5525-1503
	とうゆう会	田中 英俊	田中 英俊	八王子市南大沢	090-1103-8497
B 事 業 実 施 部 門	一般社団法人親子支援ネットワーク たんぽぽの輪	河野 朋子	河野 朋子	八王子市館町	090-8560-2510
	poakaka	白井 由美	白井 由美	八王子市下恩方町	080-5457-3908
	八王子・日野カワセミ会	粕谷 和夫	門口 一雄	八王子市片倉町	042-635-6886
	NPO法人はちぷろ	鶴田 隆一	鶴田 隆一	八王子市元横山町	042-645-7763
	高尾山とんとんむかし語り部の会	佐々木 希一	次田 佳子	八王子市緑町	090-4611-1503
C 事 業 連 携 部 門	特定非営利活動法人小津倶楽部	前原 教久	前原 教久	八王子市小津町	042-651-6639
	みはらしプレーパークの会	北見 みゆき	北見 みゆき	八王子市七国	090-8463-6465

令和3年度(2021年度)交付 市民企画事業補助金 成果報告書



令和4年(2022年)8月発行

発行 / 八王子市
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192 - 8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
電話 042 - 620 - 7401 FAX 042 - 626 - 0253
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp
URL <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>
